

令和5年度 第2回荒川水系  
渇水調整協議会（秋季定例会）

## 荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダムと奥秩父もみじ湖(令和5年11月1日撮影)

令和5年11月7日

関東地方整備局

# 1. 荒川4ダム等の現状

## 1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和5年11月6日0時までの降水量）

秋ヶ瀬（埼玉県志木市宗岡地先）地点上流域における1月の降雨量は平均値（昭和40年～令和4年の58年間の平均）の約17%（6mm）、2月は平均値の63%（25mm）、4月は平均値の41%（39mm）と平均値を大幅に下回る月がありました。6月には台風2号の影響等による降雨で296mm（平均値164mm）となり平均値を上回りましたが、7月の降水量は、平均値190mmを大幅に下回る25%（47mm）でした。8月は平均値の約83%（173mm）、9月は平均値の約75%（173mm）、10月は平均値の約42%（67mm）となっており、平均値を下回る傾向が続いています。（図-1、表-1参照）

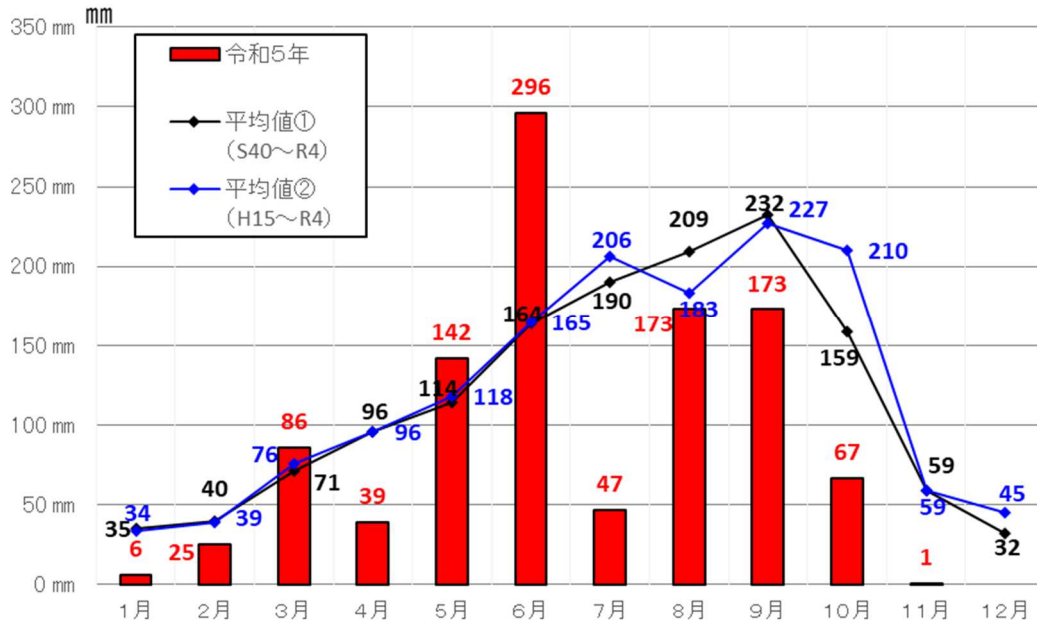


図-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和5年11月6日0時まで）

表-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和5年11月6日0時まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249
平成26年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682
平成27年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438
平成30年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559
令和3年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366
令和4年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1,361
平均値① (S40~R4)	35	40	71	96	114	164	190	209	232	159	59	32	1,401
平均値② (H15~R4)	34	39	76	96	118	165	206	183	227	210	59	45	1,458
令和5年	6	25	86	39	142	296	47	173	173	67	1	-	1,055
平均値①に対する割合(%)	17%	63%	121%	41%	125%	180%	25%	83%	75%	42%	2%	-	75%

注) 平均値①はデータが存在する期間（58ヶ年）を平均したもの

平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

2) 荒川4ダムの貯水状況等(令和5年11月6日0時現在)

荒川4ダムの貯水量は、1月から4月の少雨の影響により、平均値を下回ったままの状態でした。6月は台風2号の影響等により貯水量は増加しましたが、7月下旬より河川流量の低減に伴いダムからの補給量が増加しました。8月中旬の台風7号の影響を受けて以降、貯水量は増減を繰り返しながら少しずつ増加し、11月6日現在の合計貯水量は、7,025万m<sup>3</sup>(貯水率49%)となっています。(表-2、図-2参照)

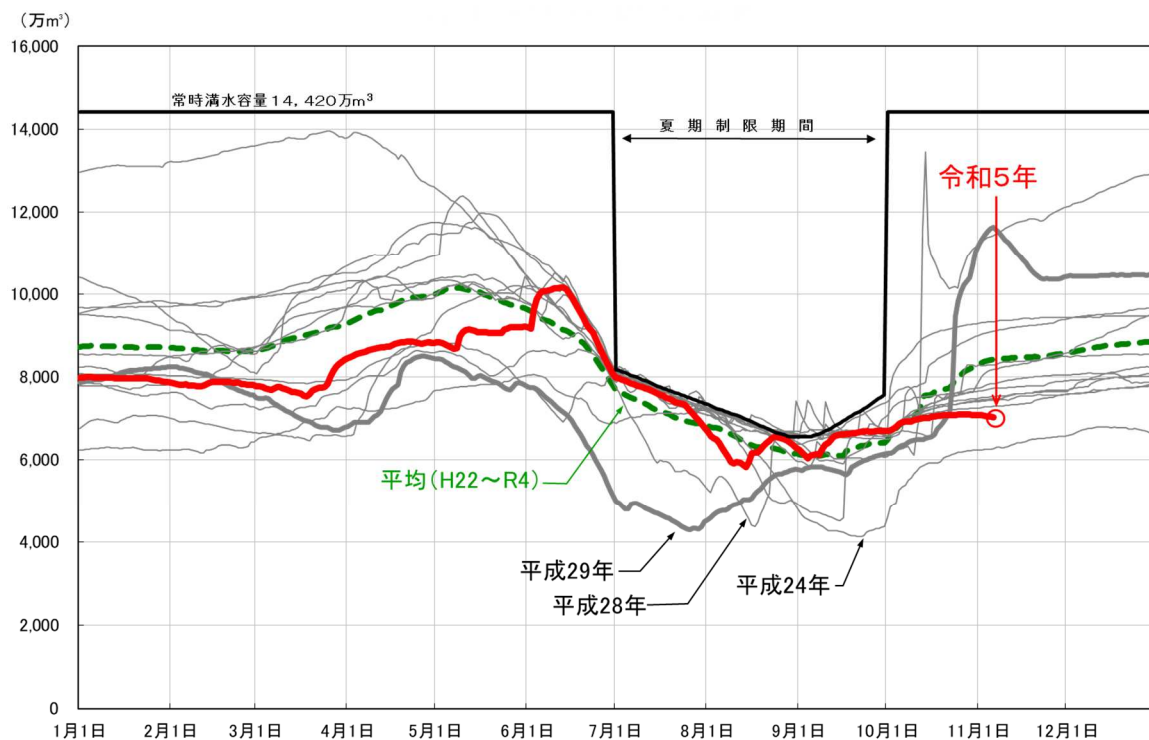


図-2 荒川4ダム貯水量図(令和5年11月6日0時現在)

表-2 荒川4ダム貯水量(令和5年11月6日0時現在)

ダム名	有効容量 (万m <sup>3</sup> )	貯水量 (万m <sup>3</sup> )	貯水率 (%)
二瀬ダム	2,000	36	2%
滝沢ダム	5,800	2,637	45%
浦山ダム	5,600	3,346	60%
荒川貯水池	1,020	1,006	99%
4ダム合計	14,420	7,025	49%
4ダム合計の平均値 (平成22年~令和4年)		8,422	(平均値に対して83%)

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

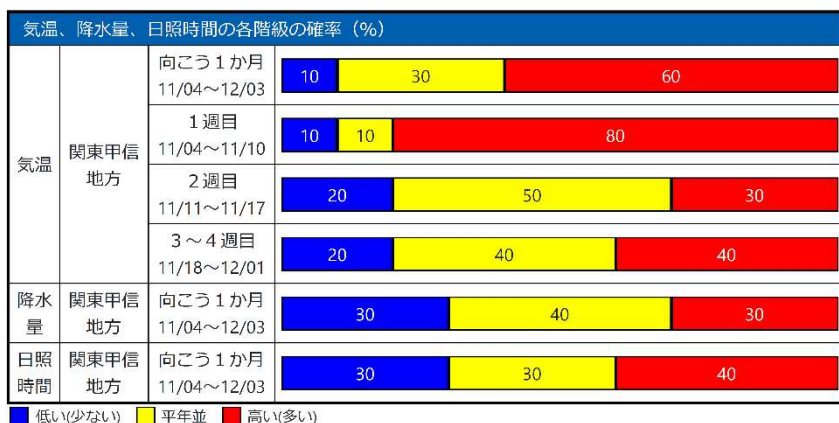
## 2. 今後の見通し

### 気象予報

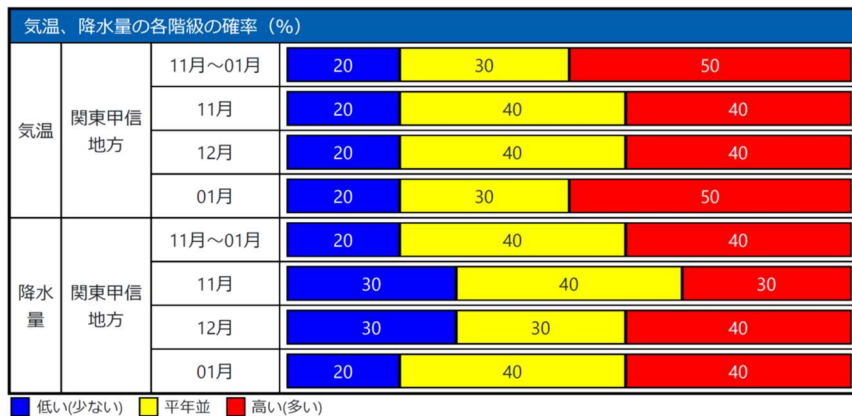
令和5年11月2日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(令和5年11月4日から令和5年12月3日までの見通し)によると、向こう1か月の気温は「高い」の確率が60%、降水量は「多い」の確率が30%となっています。また、令和5年10月24日気象庁発表の3か月予報(令和5年11月から令和6年1月までの見通し)によると、向こう3か月の気温は「高い」の確率が50%、降水量は「多い」確率が40%となっています。

なお、令和5年9月19日気象庁発表の寒候期予報(12月～2月までの天候の見通し)によると、関東甲信越地方の今冬は、気温が「高い」の確率が60%、降水量が「多い」確率が40%となっています。

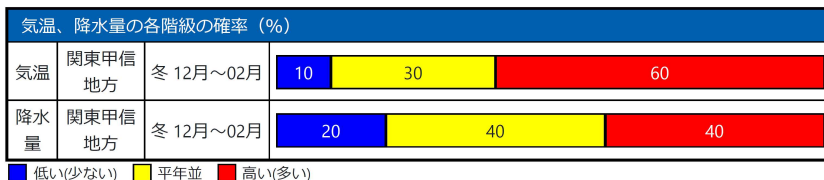
### 1か月予報(令和5年11月2日発表)



### 3か月予報(令和5年10月24日発表)



### 寒候期予報(令和5年9月19日発表)



### 3. 今後の対応

- 今後は、荒川流域の降水状況や都市用水の水利用を十分考慮し、工事に伴う貯留制限による利水容量への影響を最小限にするよう努めるとともに、既存施設等を広域的かつ効果的に活用してきめ細かな運用を行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。